多摩南ミニ通信

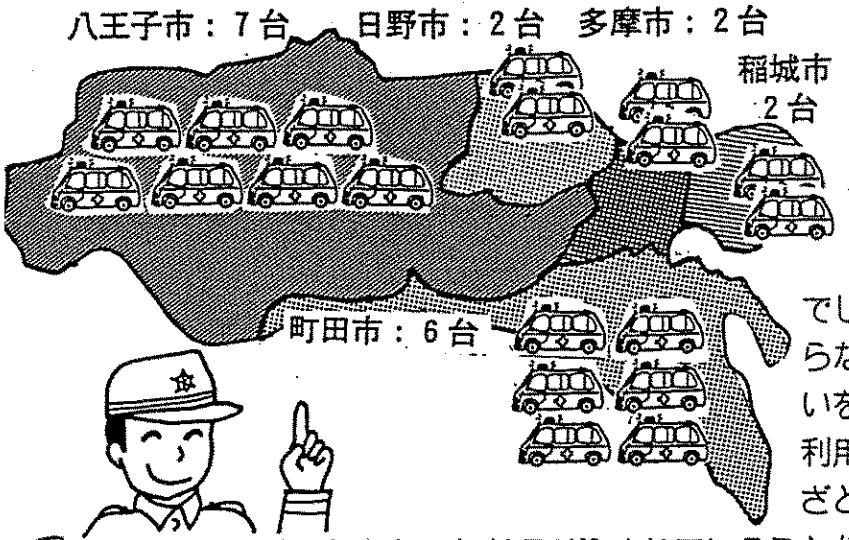
(財)東京都保健医療公社
多摩南部地域病院
地域医療連絡室第１２号
平成１０年９月１日発行

９月９日は救急の日

いざという時困らないために　知っておきたい救急あれこれ

日頃から、応急処置の方法や、病気に関する知識を備えていることが大切です。地域で行われている健康に関する講習会など上手に利用すると、いざという時に役立ちます。

◉ ところで…　知っていますかあなたの街の救急車



救急車の数は、各市町村で人口５万人毎に１台、15万人を超えると７万人毎に１台と定められています。例えば、あなたがムダに救急車を利用すると、その間4万9999人の市民は救急車の利用が不便になります。

「夜など、交通が不便な時は救急車をよんでしまう」「どこの病院に行ったら良いかわからない時は救急車をよんでしまう」等、思い違いをしている方が時々います。救急車が適切に利用され、一人でも多くの命が救えるよう、いざという時にあわてないための準備が大切です。

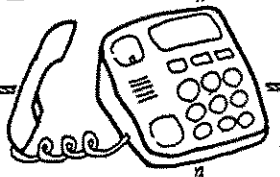
大きな病院は重症な患者さんが運び込まれていることがあり、症状によって待たされたり、診察が後になることがあります。今、診察や治療が必要なのか、何処で診察を受ければいいのか、まず考えてみましょう。　困ったときは ココに 電話で相談してみましょう。

地域の休日当番医などに関する情報

各市の広報に当番医や夜間診療所がでています
広報をなくした場合、休日・夜間でも市役所に電話をすれば、その日の当番医をおしえてもらえます。

病院の救急受け入れに関する情報

東京消防庁テレホンサービス
多摩地区　０４２－５２１－２３２３
稲城消防署救急テレホンサービス
稲城市　０４２－３７７－７１１９



診療している近くの医療機関情報

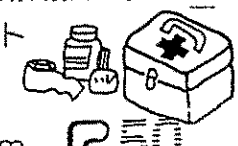
健康情報ひまわりテレホンサービス（２４時間）
０３－５２７２－０５０５

異物を飲んでしまった時の対処方法など

大阪中毒センター（２４時間）
（ダイヤルQ2）　０９９０－５－０２４９９

◉ 災害時にも役立つように救急箱を点検しておきましょう　（薬類は使用期限に要注意！）

□かぜ薬　□うがい薬　□防虫スプレー　□包帯　□体温計　□ピンセット
□胃腸薬　□目薬　□救急絆創膏　□三角巾　□綿棒　□めがね
□消毒薬　□その他の常備薬　□ガーゼ　□マスク　□はさみ



♡「多摩南ミニ通信」をご希望の方は、総合案内にお申し出ください。♡

古紙配合率50%再生紙を使用しています